

P8310779.JPG 2019/03/03  
慶応四年七月二十日より慶応四年七月二十五日まで

P8310779right

廿日未 薄晴

保三大助来り、活計□の儀咄受し保三は鶏卵一折持来、午餐を設く、休左衛門来る

□□決虚□納□臺(台)其分離具を運輸す、□て(る)命せしによる、川筋水嵩増

加し新堤破る、午前後両度水勢一□に出る、午後□□児次郎並保三大助伴へり

入□須崎常来る

廿一日申 薄晴

入□須崎常来る小品持来

廿二日酉 晴

休左衛門来る、別当随ふ、一時運輸、残りの荷を運輸す夫の手当遣す、五郎(\*2)来る

P8310779left

駿府へ御供出立用意□□あり、夕餐と酒を勧む

廿三日戌 晴

須崎常方より侶介(\*1)の酒一壺届く、山本長来る、午餐を設く時、五郎と同様□殖あり

廿四日亥 晴

午下近辺随歩、旧婢富母同道来り、鶏卵一重引わり入温鈍粉一袋等持来泊宿

廿五日子 晴

旧婢富母は今朝帰る小物類遣す、休左衛門来る、太郎儀今□在宿様達し廻状到

来の事聞る、名代の儀大助保三へ頼み遣す、前山隠居来り小品持来、同人先導にて

近辺釣堀□好庫□中を一見す、大助来る、今朝休左衛門申し聞しに一条にて此度

\*1:侶介(ろすけ)、露助、日本語によるロシア人の蔑称か？

\*2:五郎、永持享次郎の養子五郎(五郎次徳明)のことか？

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。